

事務事業名		計画相談支援給付事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子	
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 相談体制の充実					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4105	一般	3	1	2	計画相談支援給付事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成18年度～年度		根拠法令 条例等	障害者総合支援法					
	実施方法		全面委託			リーディングプロジェクト		該当なし			
	事業分類		その他直接サービス提供事業			市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
相談支援事業者が、サービス利用者のうち特に計画的な支援が必要な利用者に、サービスの利用の斡旋や調整などを行うための、サービス利用計画を作成した場合、その作成費を支給する事務事業である。			事業概要と同じである。								
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			相談支援事業所	所	3	6	4	5	6		
		サービス利用計画決定者	人	363	661	650	700	750			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
サービスを利用する又は利用している障がい者を対象としている。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
		相談支援事業所	所	3	6	8	10	10			
		サービス利用計画申請者	人	363	661	650	700	750			
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
自らが適切なサービス調整をすることができない方、障がい福祉サービス利用に際して連絡ができない方及び入所者・入院者にとって、地域での生活支援・生活環境の変化を緩和することを意図している。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
		本制度利用決定数/申請者数	%	100	100	100	100	100			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
安心して生活できる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
		サービス利用計画書等作成済者	人	486	881	890	900	920			
		相談支援(指定特定含む)事業所数	箇所	3	6	4	5	6			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
		国庫支出金	千円	5,629	6,415	7,752	8,714	9,164			
		県支出金	千円	2,815	3,207	3,876	4,357	4,582			
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	3,442	4,123	3,877	4,357	4,582			
		事業費計(A)	千円	11,886	13,745	15,505	17,428	18,328			
		事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
				計画相談支援給付費	11,886	計画相談支援給付費	13,745	計画相談支援給付費	15,505	計画相談支援給付費	17,428
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1			
		のべ業務時間	時間	60	60	60	60	60			
		人件費計(B)	千円	233	236	236	236	236			
		トータルコスト(A)+(B)	千円	12,119	13,981	15,741	17,664	18,564			

事務事業名	計画相談支援給付事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	------------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	障害者自立支援法の施行に伴い、平成18年10月から開始に至った。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国からの通知により、平成20年1月から対象範囲が拡大され、更に制度改正により平成24年4月から対象者が大幅に拡大し、サービス利用者全員の計画を作成するに至った。予算名も平成25年度から「サービス利用計画作成費給付事業」から「計画相談支援給付事業」に変更されるなどの変遷があった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	家庭、地域、関係機関の連携が円滑になり、障がい者の環境が改善されたという意見を頂いた。或いは、サービス利用対象者に対して相談支援専門員の絶対数が少ないので、専門員の育成が早急な課題であるという意見も頂戴している。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 本人が生活する上で必要なサービスを受けることは、安定した生活を送るために不可欠なものであり、意図と結果は結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 法令に基づくため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 法令に基づくため。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 考え得る中で、最も適正な方法で実施されており、やり方を変えることで成果を向上させるとは判断できない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 事業自体は、各事業所が行う。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
現在の受益者負担は適正である		理由・改善案 制度上、計画作成費に自己負担がない。
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
障がい者の自立の推進を図る事業であり、終了はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			